

# 家族の危険

シリーズ・家族



# 人類最初の殺人

- 創世記4章
- アダムとエバの息子たち、カインとアベル
- 二人の献げ物に対する神の対応
  - × カイン:土の実り
  - アベル:肥えた羊の初子
- 献げ物を無視され怒ったカイン
  - 神はカインの本心を見抜いた
- 神の警告を無視して弟を殺し、白を切った

# 心の弱さと罪

- カインの心の弱さ
  - 自分の持ち物に対する執着
  - 自分の非を認める素直な気持ちの欠如
  - 小さな事で激怒してしまう短気
  - 弟に対する嫉妬
- 弱さから生まれる罪
- 求められる**危機管理能力**
  - 「正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない。」

# 家族が生んだ不幸

## ～なぜカインは弟を殺したか～

- **責任転嫁**の家庭に育った弱さ
- 両親の教育／**長男の悲しみ**
  - エデンの園を追われ、土地を耕す義務を負わされたアダム
  - 長男カインに負わされた父の畑を守る責任
  - 気軽な(羊飼)次男に対する嫉妬(「弟の番人」)
- 「**良い子**」の爆発

# 家族に潜む危険

- 弱さを増幅させる精神的距離
  - はりねずみの法則
- 家族ゆえの厳しい評価
  - 塵(ちり)と梁(はり)
- 過度の期待
  - 「家族なんだから」という幻想と要求
- **家族ゆえの危険**
  - 家族を原因とする病気やトラブルの数々

家族であるだけで  
幸せになるわけ  
はない

- むしろ、家族だからこそ、努力と配慮と真の愛情が必要である

# カインの末裔(子孫)

- 誰もが皆心の弱さを持っている
- 弱さを支配しなければ罪に至る
- 決して誰かを裁いてはならない
  - 原因は自分自身の中にある
- 家族は自分の弱さを学び、人格を育ててゆく学校である

# はりねずみの法則

